



# FACE DUO

これから進路を考える若者に、  
介護の仕事の魅力を届けるために



## 社会福祉法人 九十九里ホーム



### この記事のポイント

九十九里ホームでは、介護人材不足の課題に対し、VRを活用した認知症体験を導入し、若い世代に介護の魅力や本質を体感的に伝える取り組みを進めています。

## 導入の背景

### ▶介護人材不足という課題

社会福祉法人 九十九里ホームでは、全国的に深刻化している介護人材不足の中で、人材確保の難しさを年々感じるようになってきました。特に、進路を考え始める高校生や大学生、専門学生に対して、介護の仕事の本当の魅力ややりがい伝わる機会が少ないことが課題となっていました。「介護は大変そう」「自分には向いていなさそう」そんなイメージだけで、介護の仕事が選択肢から外されてしまう現状は、九十九里ホームだけでなく、全国の介護現場に共通する課題だと感じています。

### ▶人材確保につながる取り組みを、どう現場負担なく実施するか

介護の仕事「大変な仕事」としてではなく、「人の気持ちに寄り添い、支える価値のある仕事」として若い世代に伝えるため、九十九里ホームでは、実習の受け入れや地域向けのイベントなどを積極的に開催しています。しかし現状として、多忙な介護現場において、現場の職員が中心となってこれらの取り組みを継続的に実施することは負担が大きいのも事実です。

### ▶現場の負担を抑えながら、介護の仕事伝えるセミナーを実現

そこで今回は、専門的な知識や特別な準備がなくても取り入れやすい認知症ケア支援VR「FACEDUO」を活用しました。現場職員の説明負担を抑えながら、認知症の方の感じている世界を「体験」として分かりやすく伝えることができ、参加者同士で感じたことを話し合う機会にもつなげることができました。忙しい現場でも無理なく実施でき、若い世代に介護の仕事の本質を伝える効果的なセミナーとなりました。

# 学生のための福祉セミナーを開催

## 実施内容

### 高校生を中心にVRによる認知症体験を実施

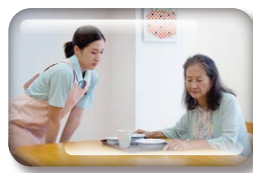
ステップ  
1



#### 認知症のある方の視点を疑似体験

15分程度

- なぜ不安や混乱が起きるのか
- どのような声かけや関わりが安心につながるのか を知識ではなく「体感」として学ぶ 内容としました。



ステップ  
2



#### ワークシートでディスカッション

30分程度

「そのとき自分は何を感じ、何をすべきなのか」をワークシートを用いて考え、参加者同士でディスカッションを行いました。



認知症の祖母と一緒に住んでいますが、急に大きな声を出したりするので、怖くてどう接していいのかわかりませんでした。でも体験を通して、目を合わせて、優しく話しかけたいと思いました。



認知症の方が感じている悲しさや不安な気持ちを理解することができました。将来、認知症の方と関わる際には、優しく接してあげたいと感じました。

## ▶ 運営が簡単

セミナー運営にあたっては、VRが内容を分かりやすく伝えてくれるため、専門的な説明がなくても実施しやすいと感じました。また、ワークシートが用意されている、体験後のディスカッションに自然につながれるといった点も非常に有効でした。

## ▶ イメージを変えるきっかけに

高校生の祖父母世代は、まだ認知症に直面していないケースも多く、「認知症は怖い」という漠然としたイメージを持っている生徒も少なくありません。だからこそ、VRを通して認知症の理解を深め、イメージを具体化できたことは非常に意義のある取り組みだったと感じています。

## 今後への期待

今回の取り組みを通じて、介護の仕事は「大変な仕事」ではなく、「人の気持ちに寄り添い、支える価値のある仕事」であることを、若い世代に伝えられる手応えを感じました。これまでの取り組みを通じて興味をもってもらい入職頂いた学生の方もいますので、今後も、体験を軸とした取り組みを通じて、介護の仕事に興味を持つ若者を増やし、地域の介護人材確保につなげていきたいと考えています。

## FACE DUO 短期利用プラン

認知症・フレイル関連イベント・導入に向けた  
トライアル等に活用

\*短期プランは連続2か月までご利用頂けます

- FACEDUOの全てのコンテンツが1か月利用\*できるプランです。
- 豊富なコンテンツを1か月間制限なしでご利用頂けます。

99,000円/月(消費税込み、送料込み)

FACEDUOについて詳しく知りたい方は公式サイトをご覧ください ▶ <https://www.faceduo.jp/>

プラン詳細・お申込みは  
こちらから



販売 Otsuka

開発・製造

JOLLY  
GOOD!

2026年5月作成  
FD2605017